

報道関係各位

2018年10月23日（火）

タイムズ24株式会社

## **世田谷区が公用車にカーシェアリング「タイムズカープラス」を採用 ～タイムズ24が世田谷区的环境負荷低減を支援～**

タイムズ24株式会社（本社：東京都千代田区、社長：西川光一）は、カーシェアリングサービス「タイムズカープラス」が世田谷区役所の公用車として試験的に採用されることが決定しましたのでお知らせいたします。

「タイムズカープラス」は、2009年にサービスを開始し、「ミチカ」「オトク」「ベンリ」をコンセプトに日本で唯一、全国47都道府県で展開する国内最大のカーシェアリングサービスです。

2018年9月末現在では11,187件、23,045台に拡大し、6月には会員数が100万名を超えるなど、多くの方にご利用いただいています。

「タイムズカープラス」はこれまでも、自治体において公用車両数の適正化や職員の方の移動効率化、地域住民のニーズへの対応などを目的に導入されてきました。

一部自治体では、タイムズカープラス車両を庁舎駐車場内に設置し、職員と地域住民が共用するなど、カーシェアリングの特性を生かした取り組みもされています。

この度、世田谷区においても環境方針で掲げる環境負荷低減の推進、および今後の本庁舎等整備における公用車削減や公用車の維持管理費の削減などを目的に、カーシェアリングサービス「タイムズカープラス」を公用車として試験的に採用されることが決定しました。

東京23区で「タイムズカープラス」が公用車として採用されるのは初めてとなります。

「タイムズカープラス」は、配備する車両の多くが低燃費車両であることから、世田谷区が長期間所有している公用車に比べ、環境負荷低減につながるものと考えられます。

また、カーシェアリングはクルマを所有する際に発生する購入費や維持費はかからず、利用料金だけの費用負担で済むことから、公用車の維持管理費の削減の一助になるものと考えております。

タイムズ24は今後も、「タイムズカープラス」がよりミチカな存在となるよう、いつでも・どこでも利用できる環境を整備するとともに、移動のストレスがない「快適なクルマ社会の実現」を目指してまいります。